

説教余滴 2019年9月15日、岡見健彦氏のこと

教育館の廊下南端部で工事が続いています。大沼兄、岡崎信治兄、森戸兄などがご奉仕してくださっています。いったい何が行われているのでしょうか。旧会堂の面影を残すための工事です。あの壁には、旧会堂の正面にかけられていた十字架が残されています。クロス張りの壁がくたびれてきたので、旧来の木材に戻しましょう、との考えです。旧会堂は、高輪教会員・岡見健彦さんの設計、との事です。このことを伺い、少しだけ、私の知ることを書き残したく思いました。

当教会に着任して、古い写真を見せていただきました。その中に旧会堂正面の写真がありました。一見して驚きました。これは、なんと岡見健彦さんの作品ではありませんか。

岡見さんは、帝国ホテルの設計者として日本人にはなじみ深い建築家フランク・ロイド・ライト博士のお弟子さんです。ライトは大正12(1923)年に竣工した帝国ホテル建設の設計管理のため日本に長期滞在しました。

東京芝高輪の高台、明治学院の近く、に立つ高輪教会の会堂は岡見さんの設計監理によるものです。明治学院の南を中原街道が走ります。かつては切り通しの多い道でした。今は国道246号だったでしょうか。交通量が多いことで知られています。南へ入ると昔の二本榎通り、バスも通ります。左に消防書、右に警察署がある交差点、そのまま真っすぐ坂を下ると、そこは旧東海道、高輪の大木戸跡。警察署の手前を右に折れると左に高野山東京別院の門。その先が高輪教会。NET検索できれいな写真を見ることができます。田浦の旧会堂と良く似ています。白い四本の柱、その間にガラス窓。大きな切妻屋根は青銅葺きです。白と青のコントラストも鮮やか。昭和8(1933)年の建築、すでに86年を経過しましたが、今でもモダンで瀟洒なものを感じます。

田浦教会の正面の写真だけで、すぐに岡見さんの作品と分かりました。